



自治体SDGsモデル事業



国際研究拠点ひがしひろしま 形成プロジェクト



未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市



東広島市

1 はじめに ～第五次東広島市総合計画における将来都市像とSDGs～



SDGsの理念

- ・誰一人として取り残さない
- ・世界基準

SDGs未来都市としての 東広島市のあるべき姿

- ①イノベーションが生まれ、働きがいのあるまち
- ②学生や外国人が定着し、活躍するまち
- ③質の高い教育を受けられるまち
- ④環境に配慮し、持続可能で住みやすく住みたくなる先端技術のまち

東広島版
スーパーシティ

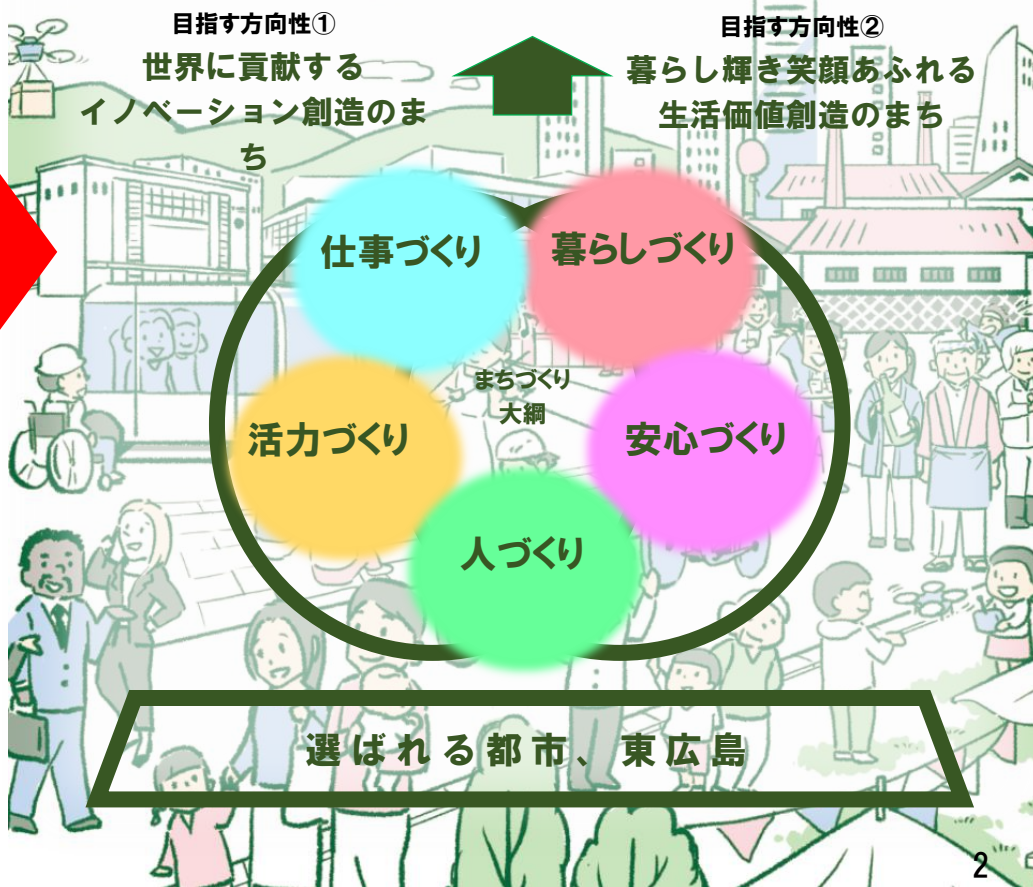
課題解決先進都市

を目指す。

第五次東広島市総合計画における将来都市像

未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市

～住みたい、働きたい、学びたいまち、東広島～



2 SDGs未来都市の具現化に向けた将来ビジョン



【2030年のあるべき姿と全体計画におけるロードマップ】

体制
整備等
2020
～
2022

経済

イノベーション創出環境の構築
産業人材の育成、産学官連携の促進、創業支援等

社会

学生及び留学生等の生活・活躍支援
「未来技術」の社会実装、研究成果での地域課題解決
学校教育の支援

環境

エネルギー利用の効率化・省エネ推進
先端技術の導入による公共交通の充実、まるごと未来都市の構想策定

本格化
2023
～
2029

- ① 活動の深化・本格展開
- ② 特区(留学生の創業支援)
- ③ 自動運転技術等の実装
- ④ 新市街地(混住街区)の実施設計、開発・整備 等

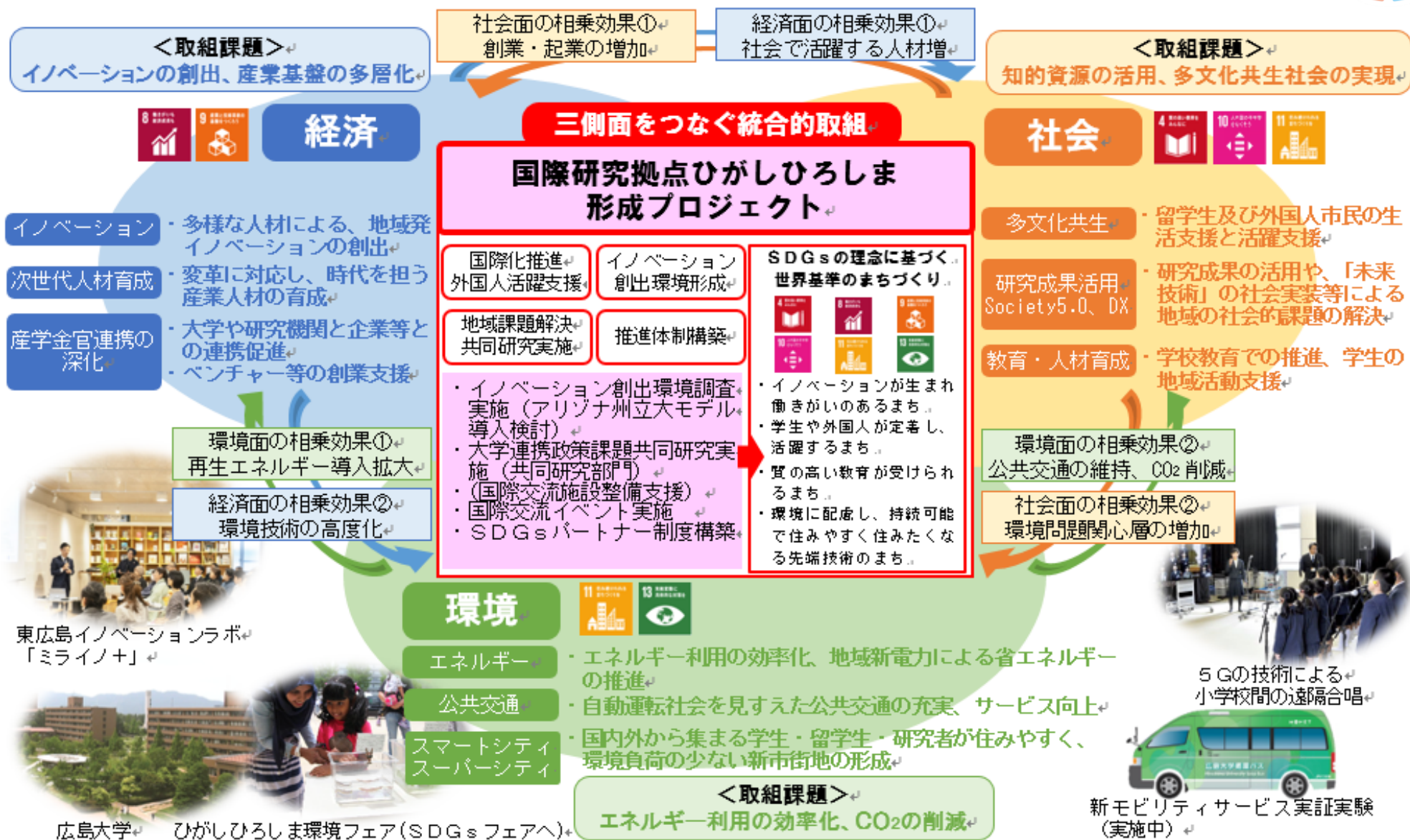
+ スマートシティの形成
スーパーシティ

実現
2030

- ①イノベーションが生まれ、働きがいのあるまち
- ②学生や外国人が定着し、活躍するまち
- ③質の高い教育を受けられるまち
- ④環境に配慮し、持続可能で住みやすく住みたくなる先端技術のまち

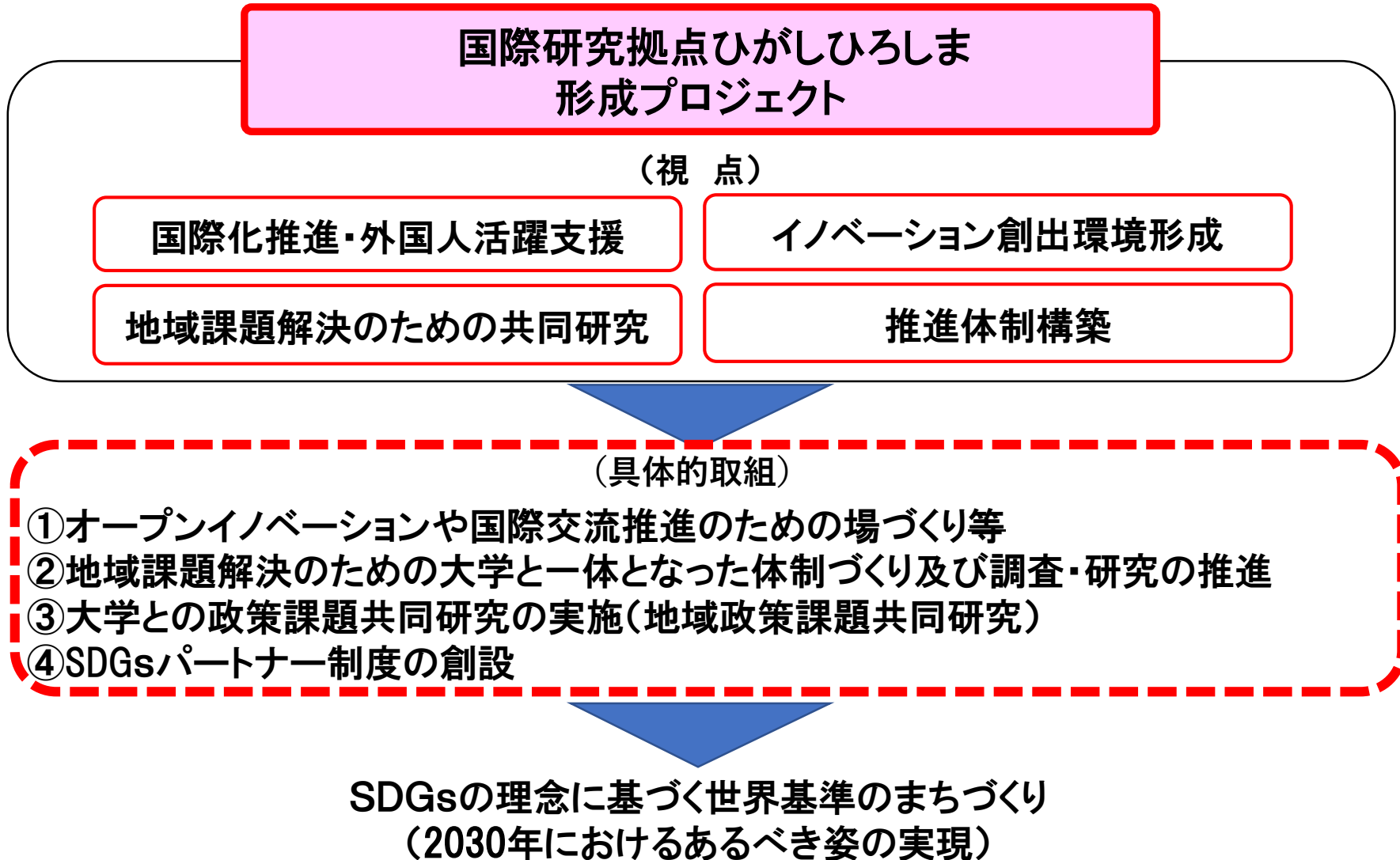


3 モデル事業の概要 ～国際研究拠点ひがしひろしま形成プロジェクト～



4 三側面をつなぐ統合的取組

■ 統合的取組の概要



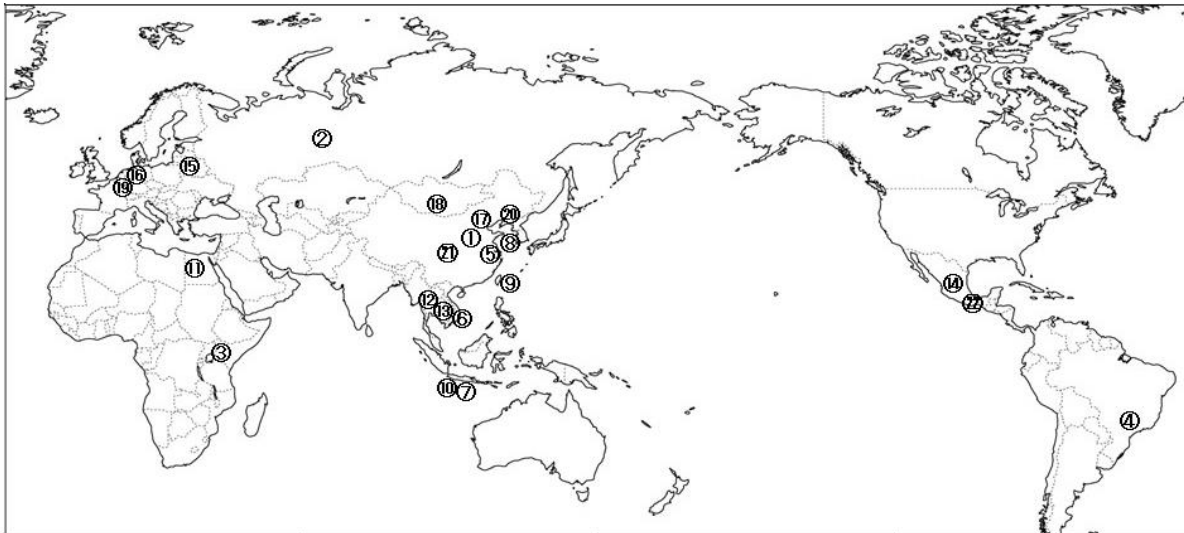
4 三側面をつなぐ統合的取組

① オープンイノベーションや国際交流を推進するための場づくりと仕掛けづくり

- ・大学とともに整備する「**国際交流拠点施設**」の活用
- ・まちづくりを担う人材の育成につながる留学生等の外国人市民との交流を図るための場づくりや仕掛けづくり(国際交流イベントの実施)



「ミライノ+」でのワークショップの様子



広島大学海外拠点設置状況<15カ国/地域22拠点>(2019年9月) 広島大学ホームページ



酒まつりに参加する外国人市民の様子

4 三側面をつなぐ統合的取組

② 地域社会における課題を解決するための、 広島大学と一体となった体制づくり及び調査・研究の推進

- ・プロジェクトを進めるための体制構築
(東広島版**TOWN & GOWN**オフィス設置)
- ・**未来構想(スマートシティ・スーパーシティ)**の
具体化に向けた調査・研究の実施
- ・大学(教育・学生)と市職員が自由な発想で
調査研究を行う仕組みづくり
(プロジェクト名:**COMMON**プロジェクト)



4 三側面をつなぐ統合的取組

③ 大学との政策課題共同研究の実施 (地域政策課題共同研究)

- ・社会的課題の解決を図るための
市内大学との共同研究を実施



エリザベト音楽大学



近畿大学工学部



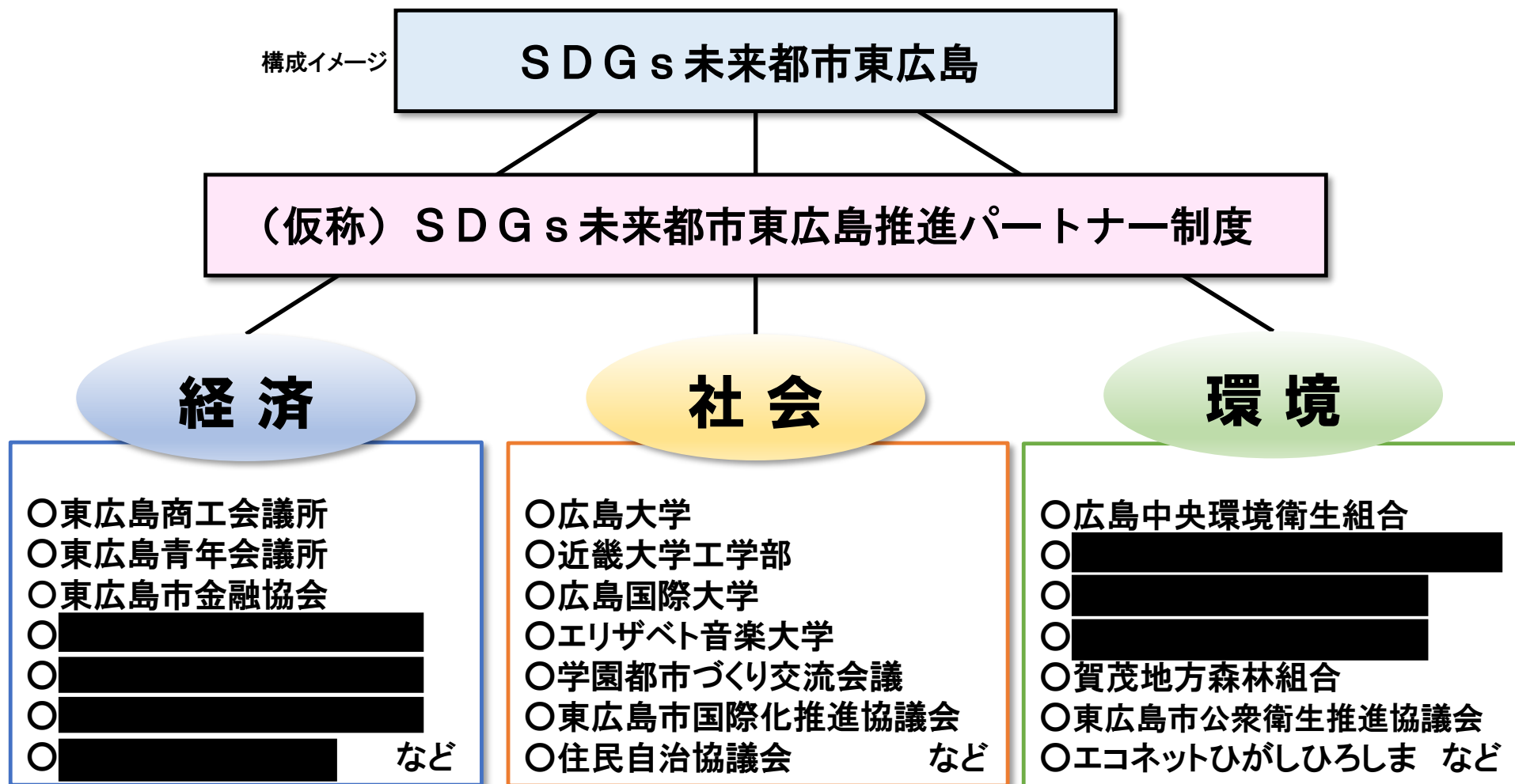
広島国際大学



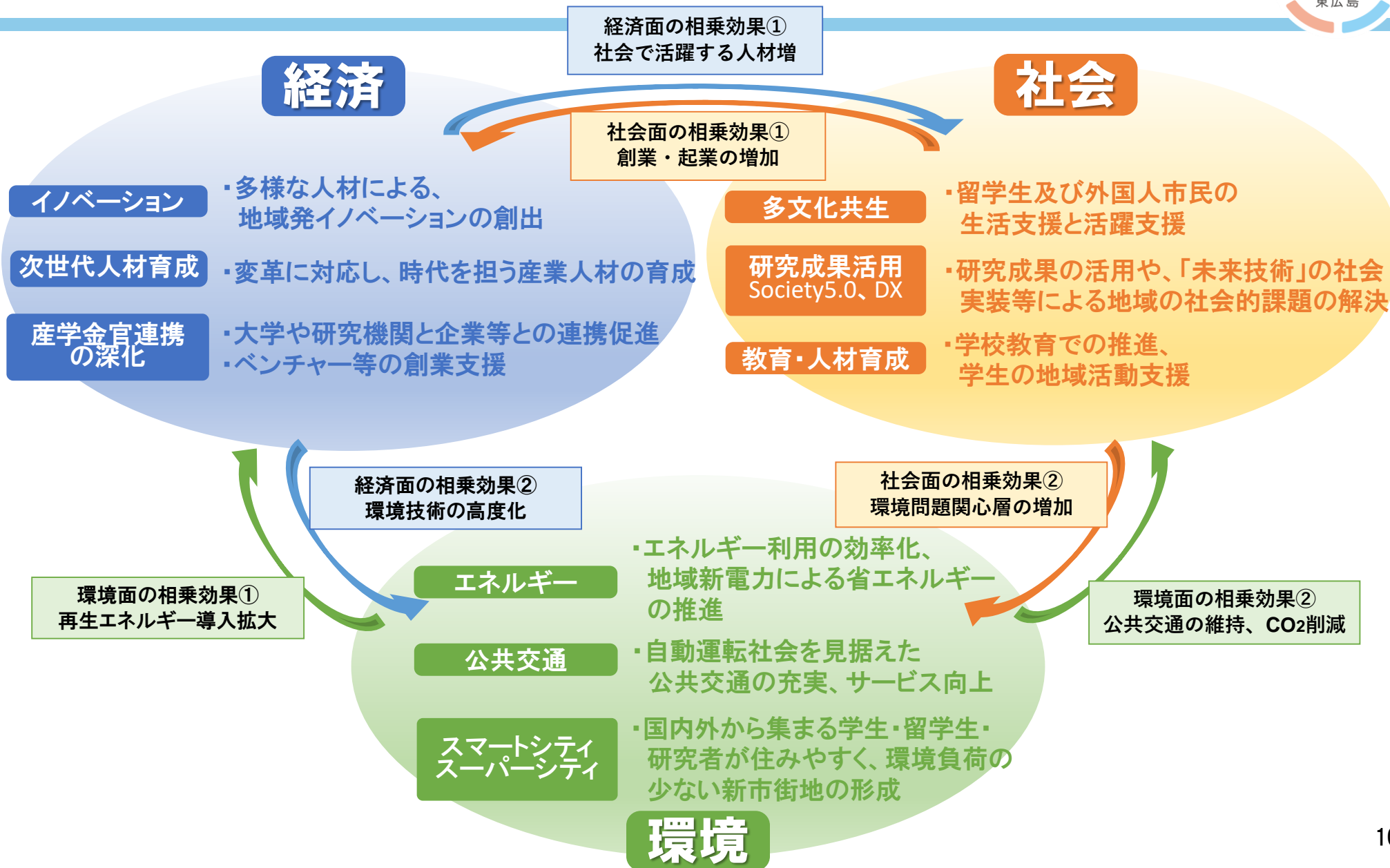
広島大学

4 三側面をつなぐ統合的取組

④ SDGsパートナー制度の創設

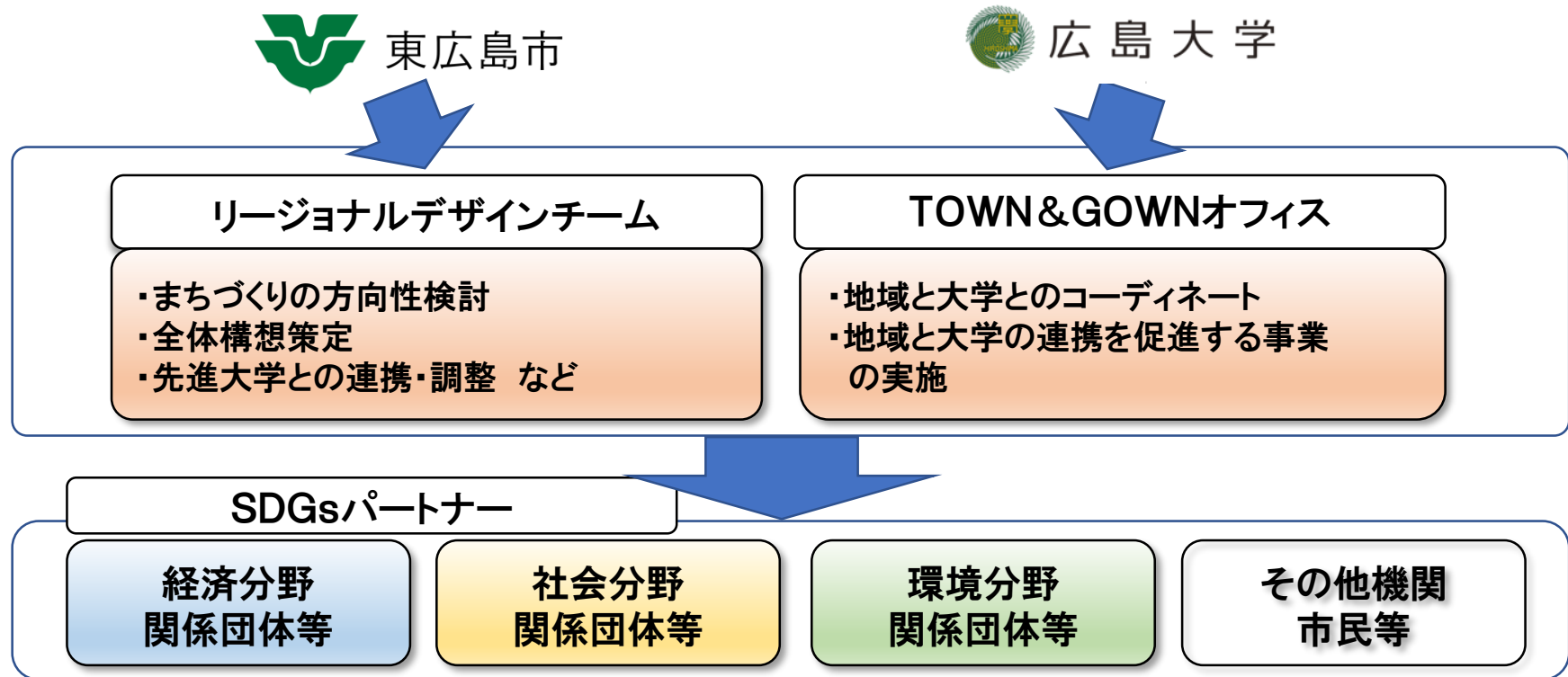


5 経済、社会、環境の各側面の相乗効果



6 自律的好循環の具体化に向けた事業の実施

① 事業スキーム



② 将来的な自走に向けて

「大学等の知的資源を活かしたまちづくり」は、市制施行以来の東広島市のまちづくりの理念そのものであり、将来の投資に必要な財源については、一般財源や民間資金等の積極的な導入により確保し、事業としての**自走を目指す**。